

MIYUKI WASHIMIYA

Piano Recital

鷺宮美幸
ピアノリサイタル

鷺宮 美幸 | ピアノ *Miyuki Washimiya*

7歳よりピアノ、作曲、ヴァイオリンを始める。その後、桐朋学園附属子供のための音楽教室、桐朋女子高等学校を経て、桐朋学園大学ピアノ科入学。在学中、フランス音楽界の第一人者H. ピュイグ＝ロジェ氏に見い出され、パリに留学。帰国後、桐朋学園大学を卒業。

第56回日本音楽コンクール入選を皮切りに、UFAM国際コンクール・室内楽部門第2位、日本室内楽コンクール第3位、国際ピアノデュオ・コンクール2台4手部門第2位(日本人最高位)など、多くのコンクールに入賞するとともに、トゥール国際アカデミーでは2年連続で最優秀受講生に選ばれた。

音楽の構造を的確に把握した上での繊細かつ大胆な表現は高く評価され、現在、オーケストラ公演のソリスト、室内楽奏者、桐朋学園大学嘱託演奏員、オメガ・ピアノトリオのメンバー(VN.松実健太、VC.唐津健)として活躍。

2013年には、Kris Foundationに招聘され、シンガポールでMetropolitan Festival Orchestra、指揮Chan Tze Law とグリーグのピアノ協奏曲、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」を一夜で演奏し、「The Straits Times」で絶賛された。また、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のクリストフ・ハルトマン、イ・ムジチ合奏団のマツシモ・パリス、ジャン・ワン、マクサンス・ラリュエ、レ・ウ"アン・フランセのジルベール・オダン他、多くの国内外の著名なソリストと共演し、ミッシャー・マイスキーと「徹子の部屋」「ニュース23」にも出演。

NHKBS「びあのピアノ」、NHK・FMに「名曲リサイタル」にソロで、また室内楽、伴奏でも度々出演した。

これまでにピアノを寺西昭子、村手静子、T.パラスキヴェスコ、高木茉莉、松浪佳子の各氏に、室内楽をJ.M.ダマーズ、三善晃、H.ピュイグ＝ロジェ、クリスチャン・イヴァルディの各氏に、チェンバロを遠藤陽子氏に師事。

CDに、「ワッシー・ファンタジア」(PF.鷺宮美幸/DQC65パスティエル)、「内山優子 思い出」(VN.内山優子、PF.鷺宮美幸/SONARE1024 ソナーレ)、「三上亮 ツィガーマ」(VN.三上亮、PF.鷺宮美幸/FOCD9395フォンテック)、「唐津 健 ブリッジ、バーバー:チェロ・ソナタ」(VC.唐津健、PF.鷺宮美幸/AUCD-19アウローラ)、「マクサンス・ラリュエ 来日40周年記念コンサート」(FL.マクサンス・ラリュエ、ジョゼッパ・ノヴァ、東條茂子、清水和高、Cem.PF.鷺宮美幸/FPCD4421フォンテック)、「コイデッシモII」(FL.小出信也、PF.鷺宮美幸/ALCD-7081コジマ録音)、「バスーンブリランティッシモ」(FG.田中雅仁、PF.鷺宮美幸/ADW7457パヴァーナ[ベルギー])、「日本の作曲・21世紀の歩み」(VN.青木調、PF.鷺宮美幸/20-21CD003東京コンサーツ)、「鹿野裕美子/高山植物のきせつ」(連弾:primo鹿野裕美子、secondo鷺宮美幸/wwcc-7361ナミレコード)などがあり、いずれも高い評価を得ている。

オフィシャルサイト<http://www.miyuki-washimiya.com/>

